

総務課長 説明

塚本：通し柱 素人だが重要だということは知っている

2分割にする理由 入手困難

期限が延びれば 11メートル材が入手可能か

渡辺主幹：その時々判断する

塚本：通し柱 重要な柱

3-4階建て 接ぎ木する

「1本でやる」伝えたい

米ヒバ なんとか 11メートル材

おそらく原木 4-50メートル

400年残そうというのなら 11メートル材 1本木をとってもらいたい

これは史実に忠実か？

渡辺主幹：今の技術提案では 2分割にしないといけない

調達可能な木材

通し柱どうなっているか 地元有識者と協議して場所を協議する

どの資料に基づいて史実に忠実になるか

塚本：通し柱 分割するものは違う

通し柱でなくなってしまう

「税金を使わない」意味は？市民生活に影響ない？

館主幹：平成 28-31年

全体で収支を均衡させる

税金を投入することはない

塚本：単年度会計

入場者の入るまではいってこない

現金が一般会計から移る

1700万円 返されたとしても行政サービスの穴埋めはできない

単年度ごと行政サービスの影響がある？市民説明会で説明したか？

館主幹：単年度では赤字になる 全体では税金投入しない

上記を説明した

塚本：行政サービスに影響あると説明したか

館主幹：「一般会計から借り入れすることはある」と説明した

塚本：行政サービスに影響あると説明したか

館主幹：予算は全体でつくる

塚本：50年計画

借入金を行うことで影響はある 現金が抜ける

本丸御殿のような寄付金の募集はされていない

借入金の 1700万、3400万円も寄付金でまかなえるはず

館主幹：今回の試算では寄付金・補助金は確定的なものが認めない  
やっっていくとしたら市民や企業に広くはかかっていく  
汗をかいてやっしていきたい

塚本：税金を投入しないようにしてほしい

丹羽：企業訪問実績

1社 どこですか？

所長：辞退した1社

丹羽：普通接触はあり得ないこと。

同じような条件で伝達することはある

トワイライトスクール と同じようなこと

「参加へのお礼」あり得るか

所長：本人に聞いたら「あいさつ」お礼

丹羽：他2社 竹中・安藤ハザマにはあいさつしなかったか

所長：辞退した会社が提案書を出すことは難しいという情報があったので、  
ぜひ出してほしいと訪問

丹羽：非常に危うい訪問

「入札実施中」会えない

わざわざ訪問 よっぽどのこと

技術検討 非常に不適切な行動

それ以上のことは聞いているか

所長：あいさつとしてお礼 進み具合はどうか ぜひ出してほしい

丹羽：非常に大きな額 500億の入札 猜疑心を持つ

公平・公正な入札に疑義 やっちゃいかんこと

この委員会で追及することは不適切

「裏で暗躍していた」一切ないように

関係委員会で審議されるべき

田辺：内容 訪問は特別秘書に確認したのか？

所長：本人に聞いた

田辺：特別秘書に聞いたのか？

所長：特別秘書に聞いた

企業から聞いたものを書いた

田辺：特別秘書と企業との言い分が若干違う

所長：企業から文字にしたことを聞いた

特別秘書に確認したら、お礼や進捗状況を話をした

技術提案書の提出お願いをした

田辺：どうされるのか このままなのか

何かしらの処分に進むのか

所長：今回のことは市長に報告 現時点では処分は考えていない

田辺：誤解を生じさせない

市長の指示で行ったのではないのか？何のためにいくわけ？

1社にだけ行ったのか？

なぜ1社にだけ行く必要があったのか？

残りの2社 本当に聞いていないのか

利害関係が生じている

どうも疑義以上のものを感じる

ほっておいていいのか

竹中・安藤ハザマの提案に影響があったとは言えないが、

100条委員会になったら、実は「来ていた」大問題

このまま終わっていいのか

局長：市長に報告した

特別秘書 契約管理監に相談

報告が合致しているので処分は考えていない

市長室に報告した

田辺：観光交流局だけの話ではない

500億 あってはいけないこと

密室で何が起こったか

江上：特別秘書 なかなか答えづらい

手を挙げた3社 2社しか来ない

仕事を進める側に聞きたいのは当然

皆さんならどうしたいか

所長：期限まで提案を待つ

江上：2/16 期限が来ていない確認

所長：2/26 が期限

江上：2/26 以前に接触すること 基準はあるのか

所長：基準はない

江上：通常の入札 こういうことで聞くことはあるのか

総務課長：入札の場合 基本的にはない

江上：基本的にはどういうことか

総務課長：普通

江上：特別秘書は公務員でしょ？

総務課長：特別公務員

江上：観光交流局の職員が接触したらどういう態度をとるか

総務課長：基本的には接触しないが、適切さを欠いている

江上：公務員としては違いはないと思うが

総務課長：特別職のことは判断しかねる

江上：大いに関係すること

台無しにされてしまう

丹羽：城のこと 場外乱闘になってしまう  
大事な問題 名古屋市の恥 倫理からあり得ない  
他の委員会で白黒つけてほしい

丹羽：材木  
木材の動向 私の行ったことが嘘？  
くら柱 ひのき、すぎ 値段が落ちている  
どの程度なのか

渡辺主幹：一般木材 名古屋城で使い物ではない。  
市場の動向 汎用品

丹羽：全くわからないということ。  
長尺大径木 一般的に流通していないため不明  
努力はしたのか？

渡辺主幹：林野庁・愛知県に聞いた  
一般木材は市場はある  
大径木長尺ものは流通量が少ない  
その時に応じて価格が決まる

丹羽：定価の分からないもの 竹中・安藤ハザマ両方 161 億なのか？

渡辺主幹：同じ価格

丹羽：4年でやるとめちやくしゃ厳しい仕入れ  
調べたが、柱材化粧材 今1本710万円 去年2月400万 178%  
ヒノキ 188%  
松 164%  
役所調べれない

500億の仕事を発注しようとしている

渡辺：一般的な材料は名古屋城で使わない  
学識者が優秀交渉権者を選んだ

丹羽：企業の名前は伏せるが、中堅ゼネコンが「木材バブル」だ  
竹中に聞いて去年と比較できたはず  
2020年目標で高くなった

清水案は安い 木材の部分ではないか

所長：清水案は実際に出されたものではない

竹中にも聞いたが、一般的に流通するものではない

丹羽：できなくはないということだが、安くなったか高くなったか

渡辺主幹：条件が多少違っている

丹羽：若干上がっているということか

渡辺主幹：若干上がっているということもある

丹羽：資料をいただいた 判断できない人がどうして判断できるのか

渡辺主幹：条件の中でいただいている

建物を作っていく中で必要 高くなっていく

所長：木材の価格 この期間限定だと資料を持っていない

丹羽：10億の議論 505億の中身が見えない

今日自転車で来た 部品ついているパンクしたら8000円

13000円で自転車変えるがタイヤついている

ロードレース100万以上もある

「自転車」が全くわからない人が議論している。

名古屋城も何も分からない人 非常に怖い。よう言ってきたな

努力もつとしないと。

工期をもっと長く ひょっとしたら270億まで落ちる可能性もある

今回の技術提案交渉方式は疑義がある

斉藤：本物の考え方

そもそも「史実に忠実に木造復元」 今日「木造化」

石垣の重要性

IS値 プロポーザル

市長 本会議 耐震性

当局としてどう思っているか

管理課長：市長から大至急の検討指示

関係局と連携して検討を進めていく

IS値 どの程度なのか 専門家の意見を聞いて

観光施設の面 旅行業の方に聞いてみる

斉藤：人の命を扱う 都市公園法

名古屋城 入場制限も言及 深く言及

ディスティネーション 問題がある

当局としての認識は

管理課長：検討の結果 行うこととなった場合、旅行会社への周知、全体に影響

することになったら実施時期は総合的に検討すべき

斉藤：当局として手立ては考えたのか

管理課長：検討結果によっては入場制限を行うこともある

現時点 避難誘導を円滑に行う ソフト面の対策

斉藤：ソフト きちんと対応してほしい

市長「天守を壊さないと下で工事ができない」

当局として折り合いが

市長発言 どう認識しているか

管理課長：耐震性の現状 市民に周知しつつ、ソフト面

文化庁との協議が必要

斉藤：取り壊しは過激

スピード感が求められている

本物について

「歴史的事実を経て残る遺構を極力保存していく」

戦災で焼けた はらみ 直されていない

文化庁とはどういう話か

渡辺主幹：こういう現状は文化庁も認識している

協議していない

斉藤：なぜ文化庁と協議していないのか

安全対策 文化財として重要というのは共通認識

所長：全体の石垣を修復 目視で直していく

天守台 他に比べてすぐに崩れない

他に比べてそう悪くない

斉藤：負荷をかけないために天守閣・ケーソンと石垣を分けた

本市として文化財を守って行かないと

全体整備計画との整合性

調査が足りなかったのではないか

所長：熊本地震 目視だけでなく全体調査補正予算をお願いしている

天守台 きちんと調査すべき

石垣が弱い 現状を守る 負荷をかけずらい

今回プロポーザルを行った

斉藤：負荷をかけずらい 文化庁と協議していないからあたふた

文化庁 さまざまな部分で考え方が変わった

木の根っこ「これは歴史」と聞いている

石垣の重要性 宇土櫓は残っている

工法を含めてコンクリートを多用しない

石垣を直していかないと

史実に忠実な復元

荷重で石垣が締まっていないから

本物を極めていく 本物はすごい

石垣 どのような状況

所長：戦災を受けている もろくなっていると認識

荷重をかけない提案 石垣についても調査した結果積み直すことも

斉藤：石垣は何年

渡辺主幹：9年ほどかかる

斉藤：9年かけても直すべきところは直して

入場者数、経済波及効果を専門家に聞いて

6/26 中日 技術提案 広島大三浦教授

日本建築史文化財学

費用対効果 圧倒的優位 見たか

渡辺主幹：記事は読んだ

斉藤：評価委員の1人

2020年完成を前提 それに応募した業者から選んだ

名古屋城の図面は膨大 研究しないと間違っただけになる可能性ある

木造復元は大賛成だが急いでおかしな城になるよりも慎重を期し誰にでも誇れるように

「おかしな城」とはなにか

渡辺主幹：聞いていない

斉藤：時を急いでコンクリートを使って

500年コンクリート誰が確認したのか

「コンクリートの耐用年数」間違いないよね

渡辺主幹：耐震対策をどうするかから始まった

斉藤：コンクリートを多用してはいけないのではないかと

334年もつのが本物ではないかと

何年もつと思うか

渡辺主幹：維持管理はメンテナンスして コンクリート

できるだけやって長く持たせる

斉藤：しっかりとした「本物の城」市長案

ケーソン どれくらいの耐久性があるかわかっていないよね

渡辺主幹：現時点では分かっていない

斉藤：昭和30年代から見たことがない

本物を追求した宇土櫓 持っている

濃尾地震 びくともしなかった

どちらが強いと思うか

渡辺主幹：どちら それぞれの耐用年数がある

どう持たせるか

それぞれに応じたよさがある

斉藤：334年もつ城 セパレートだから

コンクリートの耐用年数から議論が始まって、ケーソンを多用した城

震災で明らかになった

その前にプロポーザルかけた

どちらが持つか

私は「史実に忠実な復元」市が言い出したもの

答えが出てくるのではないかと

論理破たんがでてくる

耐震化のためではない

所長：「史実に忠実な復元」は大事。

石垣の天守台 基本的には保存して荷重をかけない

専門家・文化庁と協議していく

斉藤：本物性を追求していく

名古屋市民にとって非常に大きい

評価委員の先生が「慎重に」

江上：耐震化の問題 ほかっておくわけにいかない

そもそも経過 0.14 2011年2月28日耐震診断書ででている  
2012年12月 全体整備計画増補版 耐震化 木造化は出ていない  
2013年4月 木造化 今に至っている  
2011年2月 0.14 29億円で耐震やる  
0.6を回復するための費用か？

渡辺主幹：0.6以上を目指す

江上：名古屋城 震度6強に耐えるでよいか

渡辺主幹：0.6 現行の耐震基準と同等

「耐えうる」評価がある

江上：2011年2月から5年4カ月

名古屋市として0.14 何も対策をとらなかったのは？

渡辺主幹：耐震対策について協議している

今後調査

江上：どうしてやらなかったのか

政治的理由があったのか

渡辺主幹：H23年度 石垣

H26 木造化と耐震改修の比較調査

江上：名古屋市 現天守の耐震化をやってきた

両にらみでやってきた

現天守の耐震化について5年間何もしなかったのか

渡辺主幹：耐震化もコストがかかる

名古屋市として今後どう耐震対策をするか 今日まで至っている

江上：今後と言いながら今日まで至っている

耐震改修 29億 0.6 コンクリート劣化 2010年9月 危ない

どういう補修方法 出していない

耐震化とコンクリート劣化 両方やる金額は出ていないでよいか

渡辺主幹：劣化対策 年数が不確定 調査は実施していない

江上：不確かだから調査してやる 数字をださないといけないのでは

渡辺主幹：対策をした結果何年もつか不明確

江上：危ないと思えば改修すればよい 問題がない

0.14になっていてどういう状態か

この程度であれば持つのか

管理課長：I S値0.14 あらためて専門家に聞いて判断に生かそう

江上：人の命 「明日にでも閉鎖する」危険なら納得する

市長は「解体するために閉鎖」が前提なのでだめ

中川：2020まで理解しなかったのが7割

2026アジア大会 2027リニア

考え直しては 局長からは「選択肢の一つ」

議案を提出しているためそれ以上は言えない

市長から直接ご答弁をいただくのも1つ

2026.2027にゴールを定めて幅広く議論をしてのみ聞きたい  
休憩をはさんで検討

正副で協議 暫時休憩

14:15再開

中川：2万人アンケート 当局から考察

6割が木造復元やったらどうか

2020年7月まで 理解を示さなかった市民が7割を超えた  
謙虚に耳を傾けるなら、木造は了だが急ぎすぎない

収支見込み、入場者、耐震、財源フレーム

全体計画 二の丸 体育館

できれば2020年にとられるのではなく

2026.27をゴールに定めて市民・日本・世界に誇れるものを作っていくために  
リスタートの準備をしてはどうか

市長：アジア大会2026 リニア2027 見解

天守閣耐震性能 経済発展 1日も早く木造

耳を傾ける必要

議会より提案 時期を2026アジア大会・2027アジア大会

大きな起爆剤と考えられる

議会と手を携えて

現時点では法的位置づけ 若干な意見がある

決断するのにもう少し時間をほしい

中川：2026.27でよりよい ご決断をいただいたと思う

もうちょっと待っている

みんなでよりよいものを作って行きたい

エールを送る

田辺：市長から建設的な意見

何が混乱を生みだしたのか。

2020年7月 藪から棒な話

学識者 選定委員に入って2020年の評価した 間違いがあったのではないかと  
選考が終わる前 2社 「両方とも採用に至らず」と答弁いただいたはず  
竹中案が採用され、市長案として出てきた

清水建設案浮上 評価の対象ではなかったが、竹中と工法が大きく異なる

学識者の「おかしなお城」になってはいけない

清水建設が提案するような城が300.500.1000年もつ

史実に忠実なもの ずいぶん違ったもの

所長：最低基準の4割満たなければ採用しない

最低点をクリアした

田辺：この城を作ることが2020年に間に合う

市として良い選択なのか？

所長：学識経験者が評価した

竹中案で進めていくことが一つの方法

田辺：リスタートするのなら考えてほしい

「コンクリートが500年もつ」信ぴょう性・評価

エレベーターを付けるのがよいのか悪いのか 未解決

有識者の意見が分かれていたことはいつ明らかになるのか

渡辺主幹：基本設計実施の中で学識経験者の意見を踏まえて行う

田辺：手続き的にてれこ

エレベーターのある設計 その後なくなる？

観光資源？文化財？

設計の段階で決まっていない 考えてから議会に示す

渡辺主幹：いろんなケーススタディ

エレベーターを付けるのか付けないのか

観光施設としてどうやってするのか

田辺：いかにも手順として逆

世の中では詐欺という ペテンという

エレベーターを付けると聞いていたらついていなかった

そもそも議論を尽くして有識者と建築事業者、市と議会と市民

話をして「こういう形にする」

最初の話と違う

渡辺主幹：エレベーターの在り方など学識者と検討していく

基本設計の中で検討していく

田辺：通常のやり方と違うのではないか

普通なのか普通でないのか

所長：通常のやり方なのかどうか

木造復元 大規模な木造 他に例がない

エレベーターの問題 行政でどうするか仕様の書けるものではない

民間のノウハウを活用して案を作ってもらおう

設計の段階で学識経験者の意見を聞く

通常とは少し異なる

田辺：バリアフリー対策をどうするか

有識者 エレベーターいらない 悩ましい

×も○もつける

最終的にはエレベーターがついている案

有識者の中でもまとまっていない 時間がなかったから？

所長：エレベーター 基本的には史実に忠実 付加的につけるもの

付ける付けないは詰めていける

田辺：結論付けてからやってほしい

走りながら考えるはあってはならない

全くわからないものに予算を付けるのは初めて。子や孫に顔向けできない。

だれか保証できる？エレベーターがどうなるか

所長：基本的な絵姿を提案いただいた。

設計をする中で進めていく

田辺：保証ができるかできないか聞いた

はっきりできないというのが答弁でしょう

所長：エレベーターについては明確になっていない

江上：2020年7月までの木造化 あわてるな

名古屋に50年住んでいるが、木造化の話聞いたことはない

入場者の話 どうみるか

耐震問題は目の前に来ている

市の会議が6/29にある 今回の委員会の論議

管理課長：安全の問題 関係各局と相談していく

江上：耐震化 お金があることは事実

財源として国や県 協議してきたのか

館主幹：現時点ではしていない

江上：入場者の計算が違えば財源どうするか

市民の思いが出てこなければお金がでてこない

国の補助金がない限りやっていない

市の優先順位が高まって機運が必要

現在は機運がない

明日再度総括質疑を行う

10：30- 付議議案質疑を行った後意思決定